

平成 25 年度 習志野市の平和事業について

1 原爆死没者慰霊及び平和祈念式典

広島・長崎の惨事を次代に伝え、世界の恒久平和を願い、原爆投下の時刻に合わせて 8 月 6 日・9 日の両日に、防災行政用無線で市内全域に 1 分間の黙とうを呼びかける。

また、秋津公園内「平和の広場」において、黙とうのほか、花輪・千羽鶴の献納、献水、献花、市民代表团 OB によるスピーチ、第七中学校合唱部による合唱等を実施。

◇8 月 6 日（金） 午前 8 時 13 分～ 原爆死没者慰霊および平和祈念式典（広島）

◇8 月 9 日（月） 午前 11 時～ 原爆死没者慰霊および平和祈念式典（長崎）

※ 「平和の広場」の清掃活動

◇7 月 26 日（金） 午前 9 時 30 分～ 毎年 7 月下旬に行っている。原爆投下の日を前に平和について考えながら、広場の清掃を行う。

2 核兵器廃絶平和都市宣言記念展

地球の未来を脅かす核兵器の廃絶を訴え、被爆者の描いた絵、千羽鶴・絵手紙、平和市民代表团 OB 作成の資料等を展示する。

展 示 日	会 場	展 示 物
7 月 24 日（水）～8 月 6 日（火）	大久保公民館	平和事業紹介 被爆者の描いた絵 市民作成千羽鶴・絵手紙 平和市民代表团 OB 作成の資料
8 月 8 日（木）～8 月 21 日（水）	実花公民館	平和事業紹介 被爆者の描いた絵 市民作成千羽鶴・絵手紙 平和市民代表团 OB 作成の資料
	谷津公民館	
10 月 1 日（火）～10 月 15 日（火）	市民プラザ大久保	平和事業紹介 平成 25 年度市民代表団の報告等
8 月 3 日（土）～8 月 9 日（金）	新習志野図書館	原爆被爆写真 被爆者の描いた絵
8 月 11 日（日）～8 月 15 日（木）	東習志野図書館	原爆被爆写真 被爆者の描いた絵

※ 公民館・図書館は月曜日が休館日

3 習志野市平和市民代表団の被爆地への派遣

市民の平和意識を啓発し、平和の尊さを次代へ引き継いでいくため、市内中・高生を中心に被爆地「広島」へ市民代表団を派遣する。現地の平和式典に参列するほか、被爆関連施設の見学や被爆地の人々との交流を通し、核兵器や戦争の恐ろしさ・平和の尊さについての認識を深め、今後、多くの人へ伝えていく活動の一端を担っていくことを目的とする。

【市民代表団】

構 成 員：中学生 2 名、高校生 2 名、中学校教諭 1 名、原爆被爆者の会会員 1 名の計 6 名

派遣期間：8 月 8 日（木）～10 日（土） 2 泊 3 日

団員の任務：

- ・派遣に関する学習会等の企画立案及び実施。報告書の作成
- ・継承活動（派遣体験の発表等）
- ・平和募金活動への参加
- ・習志野市原爆死没者慰霊及び平和祈念式典への参列等、習志野市が行う平和推進活動への参加

4 被爆体験講話

戦争体験、被爆体験者が年々少なくなっていく今日、ひとりでも多くの市民の方に、戦争や核兵器の恐ろしさ・平和の尊さについて認識を深めてもらい、市民の平和意識の高揚、及び平和継承者の育成を図ることを目的とし、習志野市原爆被爆者の会にご協力いただいて、市内小学校、中学校を中心に被爆体験講話を実施しています。

5 その他

① 原爆被爆服の展示

藤崎在住の立本英機さんより寄贈された被爆服を市役所ロビーにて展示。

被爆服は、昭和 20 年 8 月 6 日、広島で被爆し亡くなった立本昇さん(当時 22 歳)が着用していた学生服。

② 広島・長崎の原爆被爆写真パネル、被爆者の描いた絵の貸し出し

財団法人広島文化センターから寄贈された写真パネル等を学校、事業所など各種団体に貸し出し、原爆展を開催するなど、平和活動の促進をはかる。

【貸し出し物品】

- ・写真パネル「HIROSHIMA AND NAGASAKI」(B1 判 18 枚)
- ・被爆者の描いた絵 (A3 判 105 枚) 等

核兵器廃絶平和都市宣言（昭和 57 年 8 月 5 日）

わたくしたち習志野市民は、文教住宅都市憲章を定め、生存と安全をまちづくりの基本とした。

わたくしたち習志野市民は、我が国が世界唯一の核被爆国として被爆の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え続けるとともに、再び地球上に広島、長崎の、あの惨禍が繰り返されることのないよう、恒久平和を強く願うものである。

わたくしたち習志野市民は、非核三原則の完全実施を願い、平和を愛する世界の人々と共に、恒久平和を実現することを決意し、核兵器廃絶平和都市をここに宣言する。

問合せ 協働まちづくり課